会　議　録

1　附属機関等の会議の名称
令和７年度　第１回丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会

2　開催日時　　令和７年６月１８日（水）１９時００分～２１時００分
（傍聴の受付時間　１８時３０分～１８時５５分）

3　開催場所　　丹波篠山市立中央図書館　視聴覚ホール

4　会議に出席した者
（１）委　　員　　松本清一、出口立世、山本　真、有本美和、
岩﨑裕見子、長澤素子、畑　弘恵、松本将典
（２）事 務 局　　中央図書館館長兼視聴覚ライブラリー館長　田中真紀子
中央図書館主幹　小林康弘
中央図書館視聴覚ライブラリー係長　棚橋直人
中央図書館視聴覚ライブラリー係　多田吉済

5　傍聴人の数　　０人

6　議題及び会議の公開・非公開の別
すべて公開

7　会議資料の名称　令和７年度第１回丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会次第
（参考資料　令和６年度実績データ）

8　審議の概要
（１）開会
（２）委嘱状交付・自己紹介
（３）正副委員長の選出(互選)
事務局案により下記のとおり決定
委 員 長：松本清一
副委員長：出口立世

（４）あいさつ

【委員長挨拶】

こういった仕事に関わると、広報紙や新聞記事が気になる。こういうことが大事で、視聴覚ライブラリーの情報が目に付かないと、いろんな疑問もわいてこない。また視聴覚ライブラリーには多くの財産があるので、できるだけいろんな機会をとおして宣伝や発信して有効に利用できればと思う。

短い時間ですが、皆さんの活発な意見をお願いする。

（５）報告事項

「令和６年度事業実施状況について」を、次第に基づき事務局より説明。

質疑応答

（ア）視聴覚ライブラリー事業

【委 員 長】

別紙資料に「ライブラリーの利用実績を４４０件以上にすること」という目標があるが、これは何の目標か？

【事 務 局】

これは「丹波篠山の教育」に記載している今年度の編集室利用者数の目標である。

【委 員 長】

目標達成に向けて努力をするべきなのか。 達成不可能な数字なのかとも思えるが。

【事 務 局】

ビデオテープからＤＶＤにダビングできるなど、ＰＲすれば可能かと思う。知られていない部分があると思う。

【委 員 長】

編集する人が減っているなどの傾向はないか。

【事 務 局】

常連の利用者さんは変わらず利用されている。

下期などは、サークル活動の卒業制作動画の編集のため、担当になった方が利用される例がある。

【委 員 長】

映像大賞において、市内からの応募者が無くなった。

編集室を利用して作品を作るという、映像大賞に結び付いていないのが残念である。レインボーも今は活動が難しいのか。

【委　　員】

昨年度は、応募を予定していた人が応募できなかった。

【委　　員】

「まちづくり協議会（以後「まち協」）」による編集室の利用はあるか。

【事 務 局】

「まち協」としての利用は不明。個人で利用されていたら分からない。

【委　　員】

今後、「まち協」として地域の映像を残してほしいと考えると、「まち協」に向けた働きかけ・指導があってもいいかと思う。

（イ）地域映像配信事業

【委 員 長】

まるいのTVのチャンネル登録者数が４６人増えた理由は。

【事 務 局】

オープニングに市内のサークルに出演していただき、発声をいただいている。

視聴者を増やすための取組みが功を奏していると考える。

【委　　員】

サークルの出演は募集したのか。

【事 務 局】

市民プラザに登録があるサークルを中心に、当方からお願いしている。

（ウ）情報化推進事業

【委　　員】

昨年度ＩＣＴふれあいサロンの看板を作成していただいたが、効果を感じない。広報紙に情報があれば周知できるのではないか。

【事 務 局】

１１月号にＩＣＴふれあいサロンの情報を載せた。また、１１月１０日「図書館の日」にチラシを配布した。昨年度は、他にも編集室の利用についてなど、時々情報を載せた。

【委　　員】

ライブラリーをＰＲする冊子を、広報紙に挟んではどうか。

【事 務 局】

広報紙の挟み込みは、1ページ数円の費用がかかるため、予算を確保しなければ実行できない。今年度、予算を追加しての実行は難しく、また自前作成するにも、人員も不足している。

【委　　員】

若年層や子育て世代の中には、広報紙を読まない人が多い。

【委　　員】ＳＮＳを利用したＰＲを検討してはどうか。

（エ）全国アマチュア映像コンテスト事業

【委 員 長】

市内からの応募者が無くなった件について、事務局の考えは。

【事 務 局】

宣伝不足もあると思うが、７分の作品を作るしんどさもあると思う。自分の思いを強く持って作品を作ってもらうための、仕掛けができていなかったのかなと思う。

【委 員 長】

６３本の応募があるので、全国的には需要はあると思われる。市内の高校には映像制作の部活はないのか。

【事 務 局】

写真部はあるが映像制作に特化した部は無い。放送部に取り組みはあるかもしれないが、それが主目的ではない。

【委 員 長】

祭りなどを記録としてではなく、作品として映像化するのは難しいと思うが、松本委員の意見は。

【委　　員】

市内に「こんな良いネタがある」ことを、市民が知らない場合が多い。そんな情報をお知らせすれば、きっかけ作りになるのではないか。

（６）審議事項

「令和７年度の進捗状況について」を、事務局より説明。

質疑応答

（ア）視聴覚ライブラリー事業

【委 員 長】

視聴覚ライブラリーが制作する「ドキュメンタリー」について、もう具体内容は決まっているのか。

【事 務 局】

「山城」を考えている。

【委　　員】

今年の「デカンショ祭」について、撮影の計画は。

【事 務 局】

今年の「デカンショ祭」がどんな形になるのか情報がない 。６年度も撮影しているので、何か特別なことがあるのなら記録映像として撮影する。

（イ）地域映像配信事業

【委 員 長】

本日の議会での質問と答弁内容は。

【事 務 局】

議会の質問と答弁内容を紹介。（まるいのＴＶへの小学生の関わり、機材の更新等）

【委 員 長】

質問があったのだから、「検討」だけでなく何か行動を起こしてほしい。

【委　　員】

動画データベース利用促進について､学校の担当者だけに周知しても広がらないので、活用ガイドなどを作成して、学校サイボウズの掲示板に上げるのが良いのでは。

【事 務 局】

「機材更新計画の策定」に関して、本来ならば本日、計画を示しご意見を伺うべきところ、100 種類以上の機材についての検討が必要であることから、10 月に予定している第 2 回運営委員会にて計画を示したいと考える。

（ウ）情報化推進事業

【委　　員】

ＩＣＴサロンについての打ち合わせが年に 1 回だけなので、もっと定期的に設けてスタッフの意識の向上などを図るべき。

（エ）丹波篠山映像祭事業

【委　　員】

今年、募集要項を夏休みまでに学校に配り、ワークショップも開催するのか。

【事 務 局】

夏休みまでに配布する。ワークショップは昨年と同様の内容を考えている。

【委　　員】

「まち協」に地域の映像を残しませんかと働きかけて、そこから作品を作ってもらえるようアプローチしてはどうか。

【事 務 局】

丹波篠山市は、映像制作を「生涯学習」の手法として取り組んだ地域である。映像制作の底辺を広げる取り組みが重要と考えており、そのためには、ビデオサークルをはじめ、皆さんの協力をお願いしたい。

【委 員 長】

地域おこし協力隊の方は行動力もあるので､活動を映像化して作品を作ってもらえるのではないか。

【事 務 局】

昨年度もお二人から「作れる」という回答をもらっていたが、結局応募は無かった。こちらのフォローが足りなかったと思っている。

（７)閉会

【副委員長挨拶】

長時間にわたる慎重な協議に感謝する。

来年度に向けて、視聴覚ライブラリーがさらに発展することを願う。